

[成果情報名]コチョウラン山梨1号の栽培特性

[要約] コチョウラン山梨1号は一季咲きである。フラスコ出しの適期は4月から7月である。

フラスコ出し後4ヶ月間は20~35（育苗室最低温度~最高温度）で育苗し、18~25（開花室最低温度~最高温度）で開花させる。フラスコ出しから約1年で出荷できる。

[担当] 総農セ・高冷地振興セ・八ヶ岳試験地・藤木俊也

[分類] 技術・普及

[課題の要請元]

部門別農業代表者、農業技術普及部

[背景・ねらい]

当センターで育成した「コチョウラン山梨1号」は、これまでになく交配親から育成されたため開花習性が不明である。そこで、種苗登録・普及に向け、山梨1号のフラスコ出し時期、育苗温度、育苗期間、開花温度などを検討し、栽培特性を明らかにするとともに、短期出荷が可能となる栽培法を確立する。

[成果の内容・特徴]

1. 開花は、フラスコ出し時期にかかわらず、7月下旬から8月下旬である。フラスコ出しは、至花日数が短く、花蕾数が多い4月から7月に行う(表1)。
2. 育苗温度は20~30（最低温度~最高温度）と25~35 で、育苗期間は4ヶ月と6ヶ月で、開花日および開花品質に差がない。育苗温度は20~35 とし、育苗期間は加温期間の短い4ヶ月間とする(表2)。
3. 開花室の温度は、開花率が高く、落蕾が少ない18~25 とする(表3)。
4. 4月から7月にフラスコ出しを行い、20~35 の育苗室で4ヶ月間育苗後、18~25 の開花室で開花させると、約1年で出荷できる(図1)。

[成果の活用上の留意点]

1. 温度以外の栽培管理は慣行とする。
2. 本試験のフラスコ出し時の苗の大きさは葉数4枚、葉長5cmで行った。

[期待される効果]

- ・オリジナル芳香性品種の生産が可能となる。

[具体的データ]

表1 フラスコ出し時期と開花との関係

| フラスコ出し年月 | 開花日(年月日) | 至花月数 (ヶ月) | 開花 株率 (%) | 花蕾数 (輪/花茎) | 花茎長 (mm) |
|----------|-----------|--------------|-----------------|---------------|-------------|
| 2006年 7月 | 2007/8/ 4 | 12.2 | 100.0 | 6.2 | 151.3 |
| 2006年10月 | 2007/8/31 | 10.2 | 95.0 | 4.6 | 104.4 |
| 2007年 1月 | 2008/7/20 | 18.1 | 100.0 | 6.4 | 186.7 |
| 2007年 4月 | 2008/7/25 | 15.5 | 100.0 | 6.1 | 167.5 |

育苗：4ヶ月

育苗室温度：20~30（最低~最高温度）、開花室温度：18~25

調査時：開花日は第1花開花時、その他の項目は4花開花時

表2 育苗温度と期間が開花に及ぼす影響

| 育苗室 最低~最高温度 () | 育苗期間 (ヶ月) | 開花日 (年/月/日) | 開花株率 (%) | 花蕾数 (輪/花茎) | 花茎長 (mm) |
|-----------------------|--------------|----------------|-------------|---------------|-------------|
| 20~30 | 4 | 2008/7/31 | 100.0 | 6.1 | 167.5 |
| 20~30 | 6 | 2008/7/27 | 100.0 | 6.2 | 178.2 |
| 25~35 | 4 | 2008/7/25 | 100.0 | 6.1 | 172.0 |
| 25~35 | 6 | 2008/7/23 | 100.0 | 6.6 | 183.9 |

2007年4月フラスコ出し

開花室温度：18~25（最低~最高温度）

その他の項目：表1に準ずる

表3 開花室温度が開花に及ぼす影響

| 開花室 最低~最高温度 () | 開花日 (標準偏差) | 開花株率 (%) | 落蕾度 |
|-----------------------|-----------------|-------------|------|
| 18~25 | 2007/8/ 4(14.8) | 100.0 | 1.6 |
| 20~30 | 2007/6/10(17.1) | 100.0 | 8.3 |
| 25~35 | 2007/6/ 7(42.6) | 76.7 | 34.8 |

2006年7月フラスコ出し

育苗温度は20~30、育苗期間は4ヶ月

落蕾度：株当たりの落蕾個数が1個を1、2個以上を2とし、

$$\text{式} = \{ (1 \times a_1 + 2 \times a_2) \} / 2 \times n \times 100 \text{により算出した}$$

その他の項目：表1に準ずる

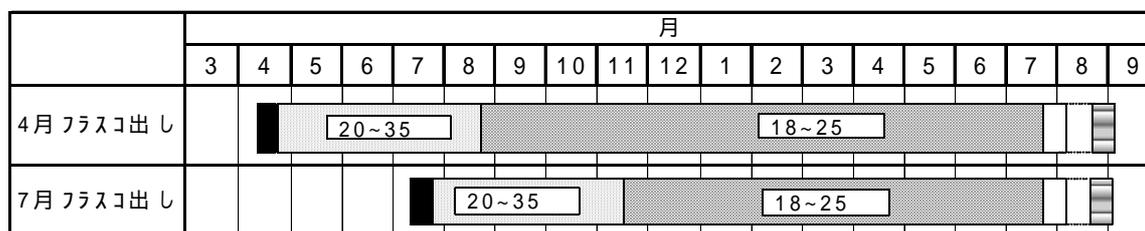


図1 山梨1号の栽培体系

■：フラスコ出し □：育苗室 〇：開花室 □：第1花開花 〇：出荷(4輪開花時)
温度：表1に準ずる

[その他]

研究課題名：野菜・花きのオリジナル品種育成と栽培技術の確立

2. 小型コチョウランの新品種育成と栽培技術(H18~20)

(3) 「コチョウラン山梨1号」の栽培技術の確立(H18~20)

予算区分：県単(重点化)

研究期間：2006~2008年度